

勝浦町 橋梁長寿命化修繕計画



平成 22 年 2 月版
勝浦町 産業建設課

背景と目的

🍊 勝浦町の現状

勝浦町は、平成21年度時点で243橋の道路橋の管理を行っています。橋長別の内訳としては、橋長15m以上の橋(橋梁)が28橋あり、橋長15m未満の橋が215橋となっております。

現在、橋長15m以上の橋のうち、建設から50年以上が経過している橋の割合は21%(6橋)ですが、15年後には54%(15橋)、30年後には78%(21橋)と橋の高齢化の割合が一段と進行していくことになります。

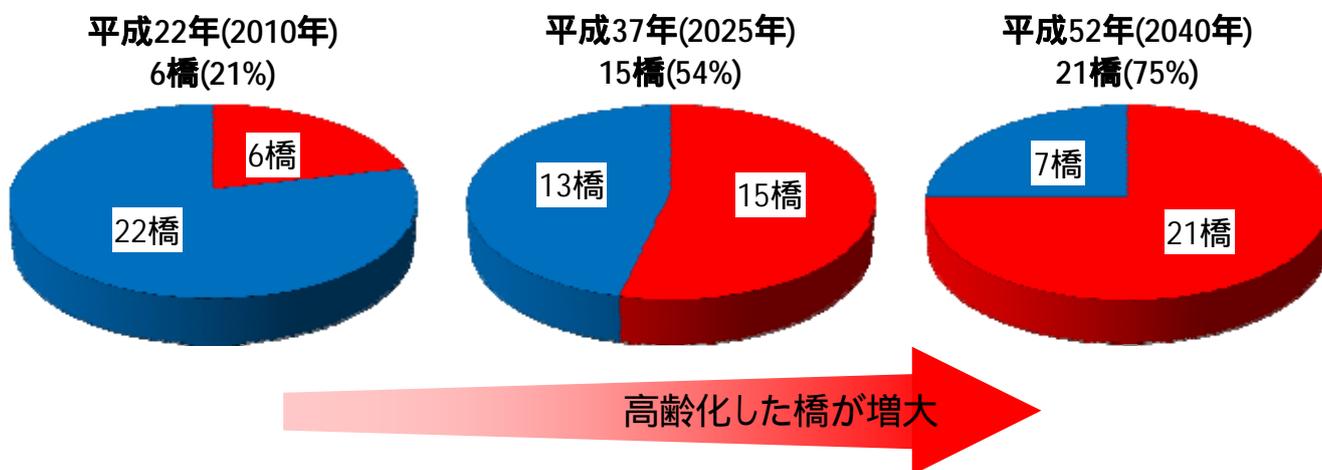
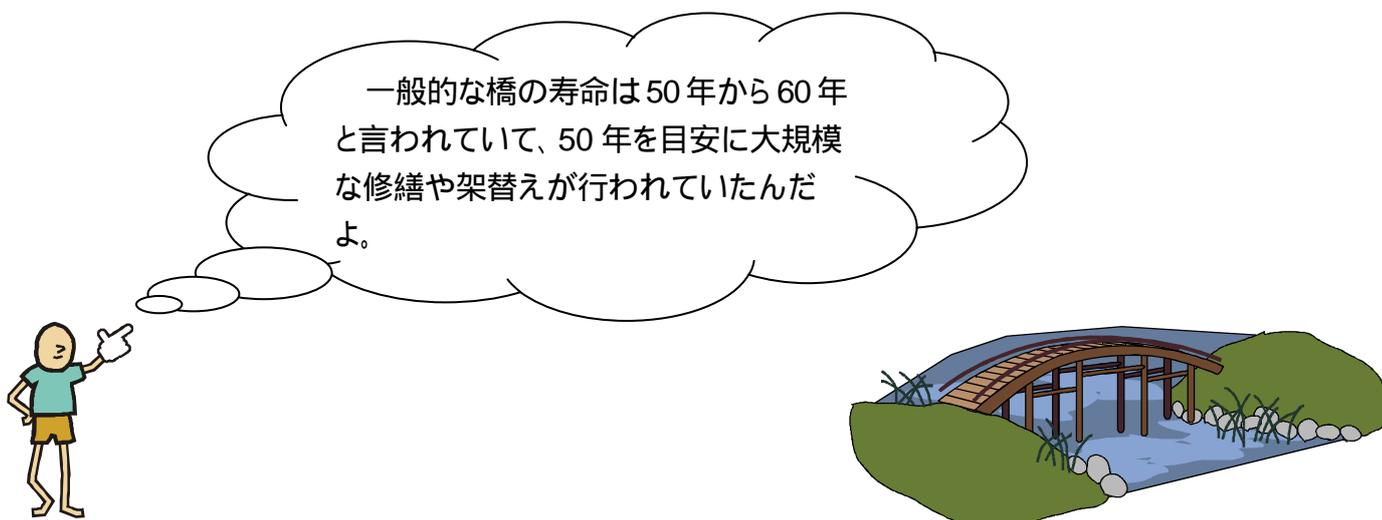


図-1 建設から50年以上が経過した橋の割合

高齢化した橋の安全性や信頼性を確保するためには、今後、高齢化した橋の修繕・架替えにかかる費用の増大が見込まれます。

このような背景から、橋を長寿命化し、合理的・効率的な維持管理を行うことにより、可能な限りコスト削減に取り組むことが不可欠です。



橋梁長寿命化修繕計画とは

🍊 橋梁長寿命化修繕計画の目的

勝浦町では、これまで橋に損傷が見つかったから修繕を行ってきましたが、今後は厳しい財政状況による制約下で、極力更新(架け替え)をせず橋を長持ち(長寿命化)させ、安全性の確保と維持管理・更新費用の抑制を図ることを目的としています。



修繕前



修繕後

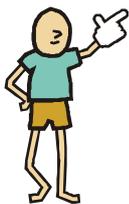


🍊 橋梁長寿命化修繕計画の策定方針

今後、勝浦町では「橋梁長寿命化修繕計画」の策定により、これまでの「対症療法的な維持管理」から、橋の劣化の進行を予測し、大きな損傷が発生する前に早めに手当てをする「予防保全的な維持管理」への転換を行い、将来にわたる維持管理・更新コスト(ライフサイクルコスト)の最小化を図っていきます。

表-1 管理手法

維持管理手法	内容(ルール)	維持管理費用
予防保全的	小さな損傷が発見された時点で早めに対策を実施	
対症療法的	損傷がある程度大きくなった時点で、安全性に影響が及ぶ前に対策を実施	



策定に向けたこれまでの取り組み

🍊 橋梁点検について

平成 20 年度には、勝浦町が管理する橋のうち橋長 15m 以上の 28 橋について橋梁点検を実施し、現状における橋の健全度(傷み具合)の把握を行いました。なお、橋長 15m 未満の 215 橋については、平成 22 年度以降に橋梁点検を順次行っていく予定です。

点検中



🍊 橋梁点検の結果

橋梁点検を実施した結果、「要修繕」が 7 橋、「損傷有り」が 1 橋確認されました。[これらの橋について緊急対策は必要ない](#)ですが、今後、[これらの橋を優先的に修繕していく方針](#)です。なお、修繕よりも架け替えが妥当と考えられる橋については、架け替えを含めた検討も行っています。

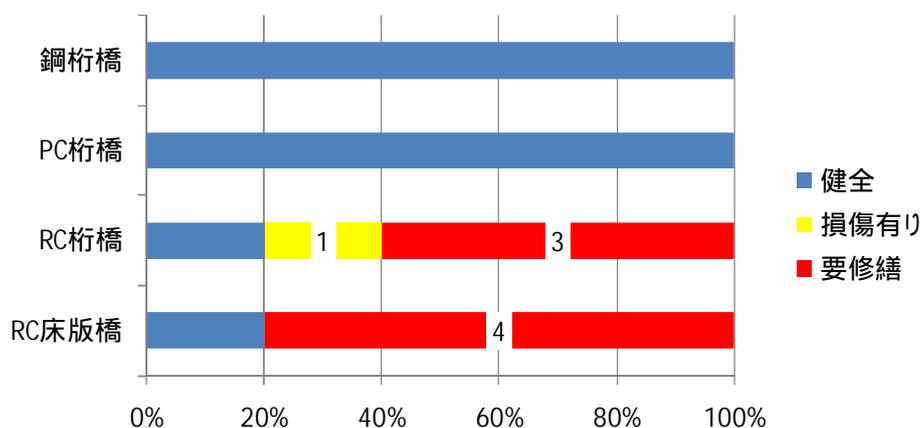


図-2 橋梁点検結果

グラフ中の数字は、橋の数
を示しています。

橋梁長寿命化修繕計画の策定(1/2)

🍊 長寿命化修繕計画の対象橋梁

平成 21 年度では、橋長 15m 以上の橋を対象に橋梁長寿命化修繕計画を行い、計画的な修繕などの対策を実施していきます。また、今後は、橋長 15m 未満の橋についても、同様に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、順次対策を実施していきます。

表-2 橋梁長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級町道	2級町道	その他町道	合計
全管理橋梁数	33	35	175	243
うち計画の対象橋梁数	33	35	175	243
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うちH21年度計画策定橋梁数	8	1	19	28

長寿命化修繕計画の対象 : 勝浦町が管理する全ての町道橋
H21年度計画策定橋梁 : 28橋
・橋長15m以上の町道橋

【平成 22 年度 修繕を予定している橋】

◆ 横瀬上川原橋 (横瀬学校線)



🍊 継続性のある取り組みに向けて

橋梁長寿命化修繕計画の策定後は【PLAN】、職員や技術者などが連携して、橋の効率的かつ的確な管理を実施し【DO】、コスト縮減など適用効果の評価・計測を行い【CHECK】、必要に応じて計画を見直して【ACTION】、適切な維持管理を目指したマネジメントサイクル(PDCA サイクル)を実践します。



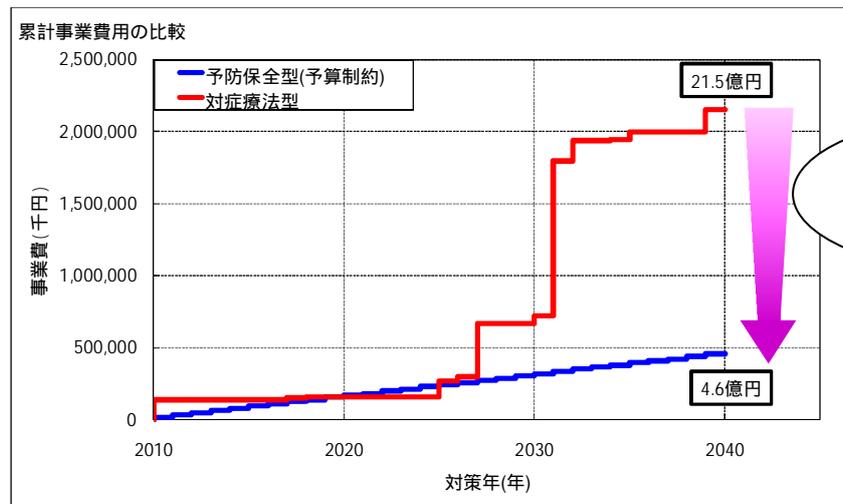
また、今後は、日常パトロールを中心とした維持管理により、異常箇所や修繕が必要な箇所の早期発見に努めるとともに、小規模な修繕及び清掃などを適時行います。



橋梁長寿命化修繕計画による効果

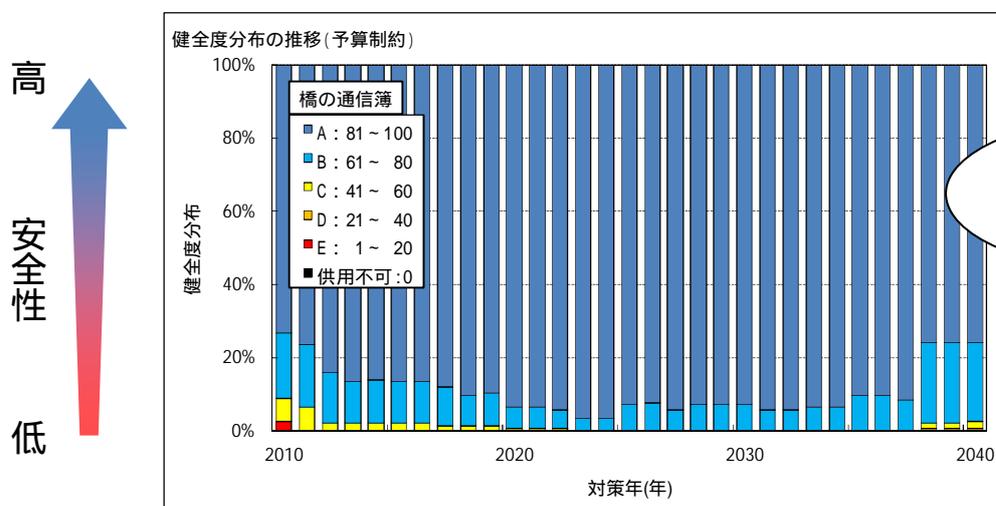
🍊 維持管理費の縮減

本計画を実施することで、橋の寿命を50年から100年に延命できるといわれています。これにより、橋を維持する費用が、今後30年間で総額21.5億円から4.6億円程度に節約できるとの試算となり、大幅なコスト縮減を図ることができると期待されています。



🍊 安全性の確保

大幅なコスト縮減により安全性の低下が懸念されますが、橋を長持ち(長寿命化)させて、早め早めの対応(予防保全型)の維持管理を行うことによって、安全性の確保が可能です。



検討委員会の開催

本計画は「勝浦町橋梁長寿命化計画策定検討委員会」(全3回開催)によって、学識経験者の方から意見を頂いて策定しました。

🍊 意見を頂いた学識経験者

徳島大学大学院 ソシオテクノサイエンス研究部

水口 裕之 教授

成行 義文 教授



第1回検討委員会 平成21年10月



第2回検討委員会 平成22年1月



第3回検討委員会 平成22年2月

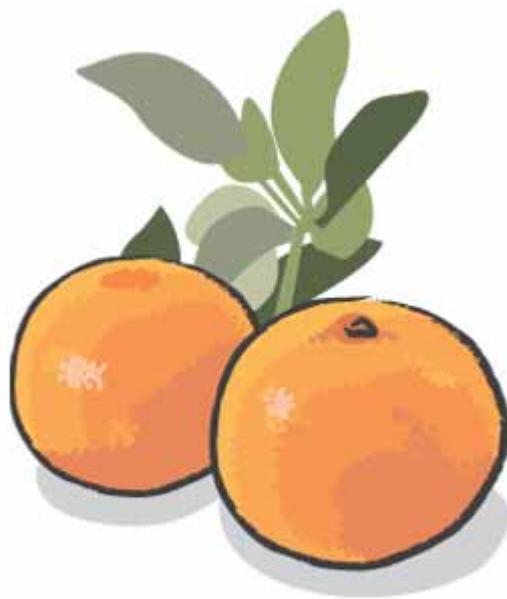
🍊 計画策定担当課

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田3

勝浦町 産業建設課 sangyo@town.katsuura.lg.jp

TEL:0885-42-1506 FAX:0885-42-3028





かつうらちょう

勝浦町

清流に緑映え 人輝くまち かつうら

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田 3
TEL:0885-42-2511(代) <http://www.town.katsuura.lg.jp/>